

令和5年度 第2回向日市社会教育委員の会議	
日 時	令和5年7月27日(木)午後3時～同4時30分
場 所	向日市民会館第4会議室
出席委員	池田委員、植田委員、田賀委員、高畑委員、田邊委員、 中西委員、中本委員、吉岡委員、淀野委員
欠席委員	横田委員、河村委員、定金委員
事 務 局	山本教育長（就任あいさつ）、清水部長、日下部生涯学習課長
内 容	1 令和5年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について 2 令和5年度京都府社会教育委員連絡協議会総会参加報告について 3 令和5年度京都府社会教育・生涯学習・公民館等指導者研修会参加報告について 4 令和5年度乙訓社会教育委員等連絡協議会総会・研修会参加報告について
生涯学習課長	<p>【開会】</p> <p>○教育長就任あいさつ</p> <p>○委員長あいさつ</p> <p>○議題1 令和5年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について</p> <p>—社会教育関係団体に対する補助金交付・計画について説明—</p> <p>社会教育関係団体に対する補助金交付・計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向日市立小・中学校PTA補助金（9団体） ・向日市少年補導委員会補助金（8支部） ・向日市青少年健全育成連絡協議会補助金（23団体） ・物集女青少年健全育成会議補助金 ・向日市子ども会育成連絡協議会（17子ども会） ・公益財団法人向日市スポーツ文化協会補助金 ・向日市少年スポーツ団体補助金（8団体） ・ひまわりカップ体操競技大会実行委員会
委員	物集女青少年健全育成会議は単独で補助金が出ていて、他の地域はまとめて出ているのはなぜか。
事務局	以前は、寺戸や他の地域でも単独の団体があり、申請があれば補助金の交付を行っていたが、昨今減少し現在は物集女地域だけになっている。向日市青少年健全育成連絡協議会は物集女以外の地域で構成されているわけではなく、物集女青少年健

	<p>全育成会議はじめ、社会福祉協議会や向日市校長会、乙訓幼稚園協会など向日市全体において青少年健全育成に関わる団体23団体で構成されている。結果として、物集女地域だけが青少年健全育成を推進する団体が存続しているということである。</p>
委員	<p>以前から、この話は話題にあがる。説明があったとおり、現状は物集女青少年健全育成会議だけが残っている。今後他の地域でも活動を再開したいとなり、申請があった場合は補助金の交付も可能なのか毎回事務局に確認している。</p>
委員	<p>向日市青少年健全育成連絡協議会の中で、今後補助金申請が可能な旨を周知されているのか。</p>
委員	<p>直接的に周知というよりは、向日市子ども会育成連絡協議会という別の組織において、向日市各地域にて青少年健全育成に関する事業が進められている。</p>
委員	<p>これまで向日市子ども会育成連絡協議会に関わってきたが、青少年健全育成のための事業の大小の規模によって、組織が分かれていると理解している。町内会などの小さな地域で活動しようとするのが、子ども会であり、少し規模が大きくなり、また現在も残っているのが物集女青少年健全育成会議であり、向日市全体で取り組むのが向日市青少年健全育成連絡協議会だと把握している。</p>
委員	<p>向日市青少年健全育成連絡協議会の加盟団体は23団体ということだが、具体的な団体名も資料に明記していただきたい。</p>
委員	<p>指摘されたとおり、資料2の団体概要に団体名を記載してはどうか。また、社会教育委員の会議において、各社会教育団体に対する補助金を取り上げ、その後の流れについて確認する。令和5年度の補助金執行は既にされているのか。</p>
生涯学習課長	<p>予算執行済みである。</p>
委員	<p>既に執行された補助金について本日の会議で意見を求められて、その意見が来年度の参考にされるということでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>今回、向日市青少年健全育成連絡協議会としては10万円の補助金額とのことだが、資料記載の20万円を減額して執行しているということか。</p>
生涯学習課長	<p>そのとおりである。予算としては20万円とっているが、執行額としては10万円である。</p>
委員	<p>社会教育委員の会議の第4回において、再度翌年度の補助金交付について協議するというでしょうか。</p>

生涯学習課長	そのとおりである。毎回、年明けに開催するので、既に予算案として一定決めた後にはなる。
委員	では、第2回で求められた意見というのは、どのような形で生かされるのか。
生涯学習課長	第4回までに来年度の補助金交付額として予算案を議会に提出するが、翌年度に執行するかどうかは、第2回で協議されたこと反映し決定する。
委員	補助金交付や交付額についてはどう決まるのか。
生涯学習課長	教育委員会が補助金申請のあった各団体から提出のあった実績報告書や計画書等を確認し、適正に事業実施されているか判断し、執行について決める。
委員	その段階で、社会教育委員の意見が生かされるということによいのか。
生涯学習課長	そのとおりである。
委員	補助金額の昨年度と比べ増減があるのが、向日市スポーツ文化協会のみであり、先ほど事務局から減額についての理由等説明があったが、スポーツ文化協会の事業計画書を見ても何も記載がない。収支予算書の受取地方公共団体補助金の欄で減額があったのが数字ではわかるが、説明が一切ない。増減がないのならば問題ないが、増減があるならば、どの項目で増減があったのか事業計画書の中で表記された方がよい。表記がないと分からない。
生涯学習課長	適切に表記できるように是正したい。
委員	資料1の団体名「向日市立小・中学校 PTA」だが、この表記でよいのか。向日市内小・中学校の各PTAがそれぞれ補助金申請をしていると思うが、この表記だとその上部組織である「向日市 PTA 連絡協議会」のように受け取られる。表記を改めてはどうか。
生涯学習課長	適切に表記できるように是正したい。
委員	先ほどの補助金の流れの話に戻るが、第4回を開催するときには、すでに予算案が決まっている。第4回の開催を予算案が決まる前に行うと、会議での協議内容が反映されるということだと思うが、早めた方がいいということか。
委員	数年前の会議の際に、社会教育委員の会議において補助金交付を取り上げることの整理を一定行った。そこで確認したのは、夏の第2回の会議内容は、翌年度の補助金予算案の参考になり、年明けの第4回の会議内容は、予算案が確定したことを改めて取り上げるということだった。この流れは今年度から新たに就任された委員はご存じないと思うので、話題にあげた。

委員	流れは理解するが、この会議での審議内容ができるだけ予算案に反映されるようにもっていくのが良いかと思うが、いかがか。
生涯学習課長	この会議での審議が妥当なことであれば、予算要求の段階で補助額等の変更をすることも必要である。
委員	市議会の開催日程とも調整し、予算要求をしているだろう。補助金に対し、昨今世間の厳しい目が向けられるなか、例年同額の予算額を獲得しているのは大きな成果ともいえる。
委員	補助金額への審議は必要だが、加えて社会教育各団体がどんな活動し、団体運営しているかその内容についてもこの会議で審議することが重要であると認識している。
生涯学習課長	団体の概要がわかる資料については、これまでなく、委員のご意見をいただいて準備したものであり、今後も活用いただきたい。
委員	団体概要の中、向日市立小・中学校PTAの各学校の主な活動内容をみると、全ての学校ではないが、「学級懇談会」の運営等の記載がない学校がある。個別各PTA作成の資料をみても記載がない。「学級懇談会」はPTAの活動の柱だと思うが、記載がなく、記載があっても「学級懇談会に協力する」と表現している学校がある。昨今のPTA活動に対し人が集まらないことやコロナ禍も影響し、実際できていないのかもしれないが、PTAの活動の柱として、活動内容の1番はじめにあってしかるべきだと思うが、現状はどうなっているのか。各校のPTAは主体的に「学級懇談会」について関わっていないのか。学校が主導で行っているのか疑問だ。
委員	我が子が小学校に入学したときは、保護者誰もがPTAに加入するものだと思う、地区懇談会や学級懇談会、PTA総会に参加していた記憶がある。「学級懇談会」はPTAが主催して行うものだったのか。今はじめて認識した。学校とPTAが共に主体的に活動するものであるならば、学校は、現在の教員や保護者の方に認識してもらえるように働きかけていただきたい。
委員	各学校のPTA活動の現状について、お話いただきたい。
委員	現状の「学級懇談会」は参観日と同日で行い、5時限目が参観なら6時限目に「学級懇談会」を設定している。参観と「学級懇談会」の案内は学校長とPTA会長連名で作成している。また司会、進行どちらも最近担任が担っている。まだ私が若い頃は、各クラスの保護者学級委員が司会進行をされていた。現在勤務する学校も以前の勤務校でも案内は連名で出し、司会進行などの運営については担任が担うという形式だった。多くの学校がこのようになっているのが実態ではないかと思う。
委員	今年度はまず1学期に学年懇談会を開催し、学年全体の保護者を招き、現状を知っていただく場を設けた。各学年30名を超える保護者が集まり、保護者と教員の

交流をはかることができた。

「学級懇談会」は2学期に計画しており、すべてPTAが主催で行う予定をしている。担任はPTAの進行に従って、説明を行う。市内の複数の学校から入学してくるので、「学級懇談会」の運営方法については出身校とやり方が違うこともあるだろうが、その溝は埋めるようにしていきたい。

【閉 会】